4B2/2010G144

水酸アパタイトおよび炭酸水酸アパタイトの結晶構造と電子密度分布 Crystal structure and electron density distributions of hydroxyapatite and carbonated hydroxyapatite

久保直幸¹,八島正知²,米原幸彦¹,藤森宏高³,井奥洪二⁴,上高原理暢⁵,朴運炅⁵ ¹東京工業大学大学院総合理工学研究科〒226-8502神奈川県横浜市緑区長津田町4259 ²東京工業大学大学院理工学研究科〒152-8550東京都目黒区大岡山2-12-1 ³山口大学大学院理工学研究科〒755-8611山口県宇部市常盤台2-16-1 ⁴慶応義塾大学大学院経済学研究科〒223-8521神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1 ⁵東北大学大学院環境科学研究科〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-20

1 <u>はじめに</u>

水酸アパタイト(Ca₁₀(PO₄)₆(OH)₂: HAp)と炭酸水 酸アパタイト(CO₃HAp)は骨と歯の主要無機化合物 であり、生体親和性から人工骨や人工歯根として活 発な臨床的応用研究が行われている。またプロトン 伝導性を示し、CO₃HApのプロトン伝導度はHApよ り高い。化学結合は HAp と CO₃HAp の特性を理解 するのに重要であり、電子密度解析は化学結合を議 論するのに大切な役割を果たす。しかし、電子密度 を研究した報告は少ない(著者ら J. Phys. Chem. C, 115, 25077-25087 (2011))。また燃料電池が動作する 高温で結晶構造を研究することは大事である。その ため本研究では高角度分解能放射光粉末回折データ により化学量論組成(Ca/P=5/3)の HAp と炭酸を 5.1wt%含む AB型 CO₃HApの高温における結晶構造 および電子密度分布を研究した。

2 <u>実験</u>

化学両論組成の水酸アパタイトと炭酸を 5.1wt% 含んだ炭酸水酸アパタイトを用い PFの BL-4B2 に設 置された多連装粉末回折計により放射光粉末回折測 定を行った。測定した温度は水酸アパタイトでは 673 K と 923 K,炭酸水酸アパタイトでは 673 K であ った。得られたデータを,リートベルト法(RIETAN-FP)、最大エントロピー法(MEM, PRIMA)により解析 した。また、得られた結晶学パラメーターを初期値 に用いて密度汎関数理論(DFT)計算により原子位置 を最適化し、価電子密度分布を調べた。

3 <u>結果および考察</u>

放射光粉末回折データのリートベルト解析は化学量 論組成の HAp と AB 型 CO₃HAp は 673 K で六方晶 系 P 6₃/m を示した(Fig.1)。 673 K で HAp の信頼度 因子は、 R_{wp} =6.06%, R_{I} =4.40%, R_{F} =3.75% および GOF=1.530 であった。格子定数は a=9.47907(2), c=6.91842(1)であった。923K での信頼度因子は、 R_{wp} =6.38%, R_{I} =4.90%, R_{F} =5.48%および GOF=1.454 で あった。格子定数は a=9.51486(5) Å, c=6.94378(3) Å であった。CO₃HAp の 673 K での信頼度因子は、 R_{wp} =7.49%, R_{I} =3.67%, R_{F} =2.76%および GOF=1.271 で あった。格子定数は a=9.4764(4) Å, c=6.91565(19) Å であった。MEM 電子密度図は、HAp と CO₃HAp の両方において P-O は共有結合性を持ち、Ca-O 結 合がよりイオン性であることが分かった。CO₃HAp においては CO₃の O の存在による電子密度分布の広 がりを確認した。これらの結果は DFT 価電子密度 分布と定性的に一致した。また HAp において 673 K に比べて 923K の電子密度分布の方が大きく広がる ことを確認した(Fig. 2)。



Fig.1 Rietveld patterns for synchrotron X-ray diffraction data of (a) HAp and (b) CO₃HAp at 673 K.



Fig.2 Electron density distributions on the (010) plane of HAp with black contours in the range from 0.0 to $5.0 \text{ Å}^{-3}(0.4 \text{ Å}^{-3} \text{ step})$ at (a) 673 K and (b) 923 K.

* yashima + @ + cms.titech.ac.jp